

第2回尾原ダム水源地域ビジョン策定委員会の要旨

1. 開催日時 : 平成25年 1月17日(木) 10:00~12:00
2. 場 所 : 尾原ダム管理支所(島根県雲南市木次町211-5)
3. 出席委員 : 速水雄一委員長、作野広和委員、勝部博委員、中林英清委員、井上勝博委員、天津芳郎委員、植田充弘委員、舘健一郎委員

4. 議事次第

- 1) 開会
- 2) 挨拶
 - ①速水雄一委員長(雲南市長)
- 3) 出席者紹介
- 4) 議事
 - ①第1回委員会委員意見への対応状況
 - ②尾原ダム水源地域ビジョンの基本理念・地域の目標像・基本方針の報告
 - ③「第1回委員会」以降の取組経過
 - (1)「尾原ダム水源地域ビジョン」策定状況の報告
 - (2)尾原ダム水源地域ビジョンにおけるプロジェクト(案)
 - (3)尾原ダム水源地域ビジョンのプロジェクトの取組時期(案)
 - (4)先行プロジェクトのとりまとめフォーマット(案)
 - ④広報の取組状況の報告
 - ⑤今後の予定
- 5) 閉会

5. 配付資料

- ・資料-1: 第1回委員会委員意見への対応状況
- ・資料-2: 尾原ダム水源地域ビジョンの基本理念・地域の目標像・基本方針
- ・資料-3: 「第1回委員会」以降の取組経過
- ・資料-4: 尾原ダム水源地域ビジョンにおけるプロジェクト(案)
- ・資料-5: 尾原ダム水源地域ビジョンのプロジェクトの取組時期(案)
- ・資料-6: 尾原ダム水源地域ビジョンの広報の状況
- ・資料-7: さくらおろち湖周辺及び湖面利用に関する手引き(案)、同ハンドブック(案)

- ・参考資料-1: 第1回尾原ダム水源地域ビジョン策定委員会の要旨
- ・参考資料-2: 尾原ダム水源地域ビジョンの基本理念・地域の目標像・基本方針の検討経緯
- ・参考資料-3: 「さくらおろちを活性化する会」参加者一覧
- ・参考資料-4: 「尾原ダム便り」「尾原ダム水源地域ビジョンニュース」配布先

6. 議事要旨

1) 第1回委員会委員意見への対応状況

- ・第1回策定委員会委員意見への対応状況については、事務局より資料に沿って対応状況の報告を行い、事務局案で承認された。

2) 尾原ダム水源地域ビジョンの基本理念・地域の目標像・基本方針

- ・基本理念・地域の目標像・基本方針については、事務局最終版を報告した。

3) 「第1回委員会」以降の取組経過

①「尾原ダム水源地域ビジョン」策定状況の報告

- ・策定作業の状況、さくらおろちを活性化する会での検討結果、ビジョンニュース等について事務局より報告した。

②尾原ダム水源地域ビジョンにおけるプロジェクト（案）

- ・「プロジェクト」の取組内容について、分かりやすい表現として頂きたいという意見があり、事務局で「さくらおろちを活性化する会」にアンケート調査を行うなどして、適宜見直すこととする。
- ・行政側の大きな流れ（施策など）を十分に反映させたビジョンとすべきという意見があり、アンケート調査は行政関係者も含め確認をとることとする。
- ・プロジェクト(1)-3「教育機関（大学等）との連携」では学生の学びの場という趣旨を踏まえ、「ボランティア」よりも「学修の場」という表現がよい。よって、(1)-3のボランティアについては、(6)-2の取組内容とする。なお、プロジェクト(6)-2「ボランティア活動の実施」の「ボランティア」という表現は変更しない。
- ・上流部だけで策定・推進するのではなく、下流部の住民や団体とともに推進していく仕組みを検討していくため、安来市や境港市等に伺い説明するとともに、次回の「さくらおろちを活性化する会」には、下流域の方に対し必要に応じてオブザーバーとして参加いただくこととする。

③尾原ダム水源地域ビジョンのプロジェクトの取組時期（案）ほか

- ・奥出雲町では「バイオマスタウン構想」があり、ダム湖周辺に繁茂する竹林、景観対策のことも含めて、新年度からでもすぐ取り組んでいただきたい。なお、竹林の伐採などを実施する際には、ボランティアではなく助成金等から費用を捻出するなど、参加しやすい仕組みを検討してもらいたい。
- ・奥出雲町では、道の駅「おろちの里」と佐白温泉、サイクリングターミナルで自転車が乗り降りできる「レンタサイクル」を計画しているため、先行プロジェクトとして位置づけてほしい。
- ・レンタサイクルの実施と連携を取りながら、さくらおろち湖のビューポイント整備などを実施していく必要がある。
- ・芝生広場の有効活用のために、一般開放する方向で島根県において検討を行う。
- ・プロジェクト(2)-2「リーダーの育成」では、新たな人の発掘よりも、既存組織のリーダーが勉強する機会を提供したり、既存リーダー間の連携の仕組み作りを重視する必要があるため、「リーダー研修」などの取組内容とする。

- ・新規に３６件のプロジェクトが提案されているが、行政として実施体制や経費面を精査する必要がある。行政間会議で実施可能性も含め検討することとする。

④先行プロジェクトのとりまとめフォーマット（案）ほか

- ・事務局案どおりのフォーマットにより、とりまとめを行うこととする。

４）広報の取組状況の報告

- ・流域の共通認識とするため、島根県で設置している、斐伊川、神戸川の治水利用の流域の市町によって構成される連絡調整会議などを活用して、水源地域ビジョンをＰＲする必要がある。
- ・「湖面利用の手引きマップ」について、みざわの館や槻之屋伝習館などの地域資源及び市町道路等の記載情報について追加・見直しを行う。
- ・上下流交流のセミナー、シンポジウム（１月、２月、３月）が予定されているため、可能な方は参加していただきたい。

５）今後の予定

- ・次回の第３回策定委員会は、２月末～３月初旬頃の開催を予定している。

以上